

平成29年度授業改善推進プラン【技術】

〔教科の観点〕

- ①生活や技術への関心・意欲・態度 ②生活を工夫し想像する能力
 ③生活の技能 ④生活や技術についての知識・理解

教科	生徒の実態と分析	指導上の課題	授業改善の視点と方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的に集中して授業に取り組む生徒が多い。チャイム始業や挨拶などもよくできている。 ○ 意欲的に発言、積極的に授業に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製作物の完成度を高めものづくりを通して、自信を深めるようにする。 ○ 主体的・対話的な取組により、生活の中において技術的視点をもてるようにする。 ○ 作品の完成率を90%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 机間指導の中で生徒の作業や取組など、よいところを見つけて励まし、学級に紹介していく。 ○ 意見の交流を図るためグループワークなどを取り入れる。 ○ 作業が遅れている生徒に対して補習学習を行う。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的に落ち着いて授業に取り組んでいるが、提出物などが出せない生徒が多い。 ○ 私語により、作業が遅れることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身に付けさせる力の理解が浅い生徒がいる。 ○ 生活を改善させる問題発見の視点を持ち、実生活で生かす意欲を・態度を育む。 ○ 生徒が楽しく学べるような授業改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中でのポイントの整理と、授業の最後に行う振り返りをより重視する。また、教えることと考えさせることの区別をはっきりさせて発問に工夫する。 ○ 授業の導入を工夫し、生徒が体験的で意欲をもって取り組めるような授業改善を行う。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業は集中してまじめに取り組んでいる生徒が多い。 ○ 提出物や授業内での発表も全体的によくできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画的な授業展開を行い、授業の進みに遅れがちな生徒がいる。 ○ 主体的・対話的で深い学びまで、つながらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1回1回の授業を大事にして授業計画、授業内容を検討する。生徒に達成感を味わわせるような授業を行っていく。 ○ 授業内容の改善を図り、学びのポイントを明確にして主体的、対話的な学びになる授業を行う。